

## 特定健診移行で、国保料を引き上げるな

自公政権による医療改善により、4月より40歳から74歳の基本健診が廃止され、特定健診に変わります。特定健診（いわゆるメタボ健診）への変更に伴う、国民健康保険料の引き上げを行わないように要望しました。

【質問】一般会計予算で実施していた基本健康診査が、国民健康保険事業の特定健康診査に変わる。基本健診の今までの市の負担額は。

【答弁】市負担は約2千750万円である。

【質問】4月以降一般会計から約2千750万円支出がなくなる。この予算を使って妊婦健診の公費負担の回数増を求める。国は公費負担を5回程度求めているが、市は1回のみである。

【答弁】公費負担の回数増は、検討する。

【質問】特定健診とそれに伴う保健指導の費用は、国保会計支出となる。当然、国保料の引き上げにつながってくる。国保保険料が上がらないように、一般会計から国保会計に相応する金額を繰り入れるべきである。

【答弁】今後の状況を見極めた上で考えたい。



## 日本共産党 一般質問

生活保護は、生活に困った時に誰でも申請でき、要件に合えば受給できる制度です。ところが、「申請権」を侵害する事態が府下で起きています。

【質問】府は、各市福祉事務所に生活保護の「申請権」を侵害することなく適正に取り扱うことを通達しているが、本市の状況はどうか。

【答弁】保護の申請前に、相談者の生活状況を聞くとともに制度の説明を行い、意思が確認されれば申請を受理している。内容によっては、相談だけの場合もある。

【要望】申請前に扶養義務の聞き取りや、持ち家や車などの所有は認められないなどの対応は適正でない。生活保護法に基づ

き、無条件に申請を受理（申請の段階で拒否却下の権限はない）し、申請後に聞き取りや調査すべきである。

また本市では、65歳以上で「持ち家」の要保護者に対し、「持ち家」を担保として社会福祉協議会から生活資金を借りるようにすすめている。これは、「持ち家」高齢者を生活保護から排除するものであり中止を求める。



## 生活保護「申請権」の保障を

市が検討している公立幼稚園の縮小について、「公立幼稚園の役割は大きく、市民との十分な合意がないまま縮小に踏み出すべきではない」と計画の見直しを求めました。

【質問】市は5月に公立幼稚園を縮小する基本方針を示したが、その後の議論はどうなっているか。

【答弁】幼児問題対策審議会で、当面一つの幼稚園の幼稚園部分をなくす方向で議論している。

【質問】パブリックコメントでは、公立幼稚園を縮小しないでほしいとの意見が多数寄せられた。公立園の保護者や保育士との話し合いはしているのか。

【答弁】保護者会の代表者らと協議はしたが、説明会等は行っていない。

【要望】市民との十分な合意のないまま、縮小に踏み出すべきではない。

公立園は費用も安く、親の経済的条件によらず通園できる。また、ベテランの保育士が多く、障害児（現在8名を受け入れ）には加配をつけて受け入れるなど、地域で重要な役割を果



たしてきた。財政難を理由に公立幼稚園を縮小することは、交野の幼児教育に大きな損失となり、縮小の計画は根本から見直すよう求める。

## 第2京阪道路 微小粒子状物質の測定を

【質問】市は、平成22年3月開通予定の第2京阪道路の環境測定について、微小粒子状物質（2.5ミクロン以下。PM2.5という）測定の検討を行うとしているが、状況はどうか。

【答弁】供用後の環境測定について、大気・騒音などの基本項目の測定を本市で行うとの前提で、PM2.5の測定に関する研究を進めている。

【要望】PM2.5は主にディーゼル車から排出され、肺がん、気管支ぜんそくなどの原因物質である。PM2.5の測定実施を強く求める。



## 河内森駅などのバリアフリーを要望

河内森駅のエレベーター設置などのバリアフリー化が京阪電鉄から「早期着手」の回答が寄せられている。市も財政負担しなければなりません。一刻も早い実施を求めました。



## 多重債務相談の窓口設置を

貧困と格差が広がる一方、多重債務問題が深刻化しており、救済にむけた市の取り組みが急がれます。

【質問】国は多重債務者問題対策プログラムを策定し「多重債務相談の専門窓口の整備」や「多重債務者の掘り起こし（発見）」などの取り組みを自治体に求めているが、本市の現状は。

【答弁】多重債務専門の相談窓口はないが、消費者相談コーナーにおいて、多重債務の相談が増えてきている。各課窓口で、多重債務で悩んでいる市民に対

し、弁護士相談などへの誘導を行っている。関係する部・課が連携し、相談者の生活再建のフォローを今後とも実施していきたい。

【要望】多重債務問題は、「市役所で相談・解決ができる」ことを市民に知らせるとともに、解決に向けた相談者へのきめ細かい支援体制をすすめて頂きたい。



## 星田北地域に公園を

星田北地域は、近年宅地の開発がすすむなか、ちびっこ広場は合計2箇所しかなく、「子どもの遊ぶ場所がない」との声が多く聞かれます。

星田北5丁目の「防災多目的広場」（土地開発公社の保有地で現在民間に貸出中）を市民に開放するなど、星田北地域に計画的に公園を整備するよう要望しました。

ご要望・ご意見をお寄せ下さい。

●日本共産党交野市議員団のホームページが新しくなりました。

<http://katano.jcp-web.net>